

平和構築における日本の役割

－「平和国家日本」の新たな自画像－

2007年6月14日
法政大学「国際機構論」
外務省国際平和協力室長
紀谷昌彦

伝えたいこと

- **今なぜ平和構築か？**
- **日本にとって平和構築とは何か？**
- **日本は如何に取り組むべきか？**
- **私たちは何ができるか？**

今なぜ平和構築か？

- **冷戦の終結→宗教・民族対立等に起因する地域紛争・内戦の増加**
 - アフリカ、アジア、中東、中南米にも
- **様々な場での取組が推進**
 - 国連（平和への課題、フラヒミ報告、国連平和構築委員会）
 - 国連諸機関、世界銀行、OECD開発援助委
 - G8プロセス



紛争解決から復興開発まで

紛争終結後の移行期間
(治安が徐々に安定し国の仕組みが固まりつつある)

開発フェーズへ
Take Off

国連PKO

(伝統的な停戦監視任務+人道的な復旧・復興支援、行政組織の整備等)

地雷除去・対策

法の支配・選挙法整備・人権・ジェンダーの監視

治安維持(軍・文民警察)、SSR(治安部門改革)

警察訓練指導

DDR(元戦闘員の武装解除・動員解除・社会復帰)

選挙支援・監視

行政システム構築

O
D
A

国際機関(人道緊急援助・復興開発援助等)
(UNHCR, WFP, UNICEF, UNDP, IOM等)

NGO(人道緊急援助・復興開発援助等)
(国際NGO, 我が国NGO, 現地NGO等)

外交交渉

和平合意の締結
↓
紛争終結

日本にとって平和構築とは何か？

- **安全保障上の必要性**
 - 政治的安定
 - テロとの闘い
 - エネルギー確保
- **日本が目指す普遍的利益の実現**
 - 平和国家日本の理念（新しい日本の自画像）
 - 明治開国・戦後復興・経済協力の経験
 - 「自由と繁栄の弧」 – 日本外交の4本目の柱

日本は如何に取り組むべきか？

1. **現場における取組の強化**
 - 国際平和協力の推進
 - ODAの拡充
2. **知的リーダーシップの推進**
3. **平和構築を担う人材育成**



1. 現場における取組の強化 (国際平和協力の推進)

- 国連PKO等への積極的な貢献
 - PKO法（カンボジア、モザンビーク、ゴラン高原、東ティモール、ネパール）
 - テロ特措法
 - イラク特措法
- 国際平和協力に関する法的枠組みの整備



1. 現場における取組の強化 (ODAの拡充)

- **ODA大綱の重点課題
→積極的に推進**
- **様々な援助手法及び体制の整備（例：現地ODAタスクフォース）**
- **機動的・効率的な援助の実施（例：自衛隊とODAは車の両輪）**



2. 知的リーダーシップの推進

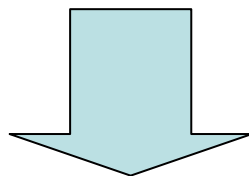
- **基本的考え方：平和の定着と国づくり**
 - 全ての紛争は異なる – 個別的アプローチ
 - オーナーシップ（当事者の能力・意思）と
パートナーシップ（関係者の連携・協力）
- **治安の確保→地雷・小型武器、法整備**
- **コミュニティの再建→人間の安全保障**
- **国家の再構築→国づくり・人づくり**
- **経済開発→インフラ整備、ビジネス**
- **実践と発信（平和構築委員会等&現地）**

3. 平和構築を担う人材育成

応募 (6月頃募集開始)	選考終了 (8月頃)	国内研修 (9月中旬～10月頃)	海外実務研修 (11月～3月頃)	就職に向けて	就職
<p>対象者 日本人実務者・研究者 アジア人実務者</p> <p>平和構築に関連する諸分野で一定の実務経験を有し、今後平和構築支援のために活躍する強い意志を有する方。</p> <p>(例) <ul style="list-style-type: none"> ■ JICA業務経験者 ■ UNV業務経験者 ■ JPO応募派遣待ち/終了者 ■ 開発コンサルタント ■ NGO勤務経験者 ■ 司法関係者 ■ 保健医療・教育支援関係者 ■ 関連分野の修士修了者 (実務経験有) </p>	<p>国内研修 (約1.5ヶ月) (全て英語) 研修項目は別表参照</p> <p>利点: <ul style="list-style-type: none"> ■ 平和構築分野の第一線で活躍する国内外の講師陣の講義をアジア人と共に受講。 ■ 世界の最高水準・第一線の知見並びに日本をはじめとするアジアならではの知見を習得することが可能。 </p>	<p>海外実務研修 (約5ヶ月) 各国際機関の本部や現地事務所等での実務研修を行う。</p> <p>利点: <ul style="list-style-type: none"> ■ アジア・アフリカ等の現場のオペレーションに参画。 ■ 国内研修で得た知見・スキルを応用すると同時に、現場での実務経験を通して人的ネットワークの拡大が可能。 </p>	<p>就職に向けたサポート体制 アドバイザーによる就職支援(例) <ul style="list-style-type: none"> ■ 希望就職先関連情報の提供 ■ 就職に係る助言 (推薦状の作成含む) ■ ロスター登録推進 <p>利点: 政府、国際機関、NGO等をはじめとする内外の関係者と連携し、きめ細やかな就職支援を受けることが可能。</p> </p>	<p>研修後の就職先(イメージ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ PKOミッション ■ 国際機関 (本部・現地事務所、駐日事務所を含む) ■ JPO ■ UNボランティア ■ 国際NGO ■ 国内NGO ■ 政府関係ポスト 	

私たちは何ができるか？

- 「平和国家日本」の新たな自画像を描くのは私たち一人ひとり



- **勉強**：授業のみならず、サークルやインターンも有益！
- **行動**：現場を見て、肌で感じること！
- **仕事**：政府・国際機関・NGOのみならず、様々な企業を含め幅広い視野を！

参考までに

- **外務省**
 - <http://www.mofa.go.jp/mofaj/>
- **平和構築フォーラム（各種リソース）**
 - <http://www.peacebuilding.jp>
- **kiya.netブログ（コンタクト）**
 - <http://www.kiya.net/blog/>